

NPO 法人 ニッポン・アクティブライフ・クラブ
ナルク (NALC) 宝塚・川西・伊丹・猪名川

《ささえあい》

3 月号

事務所 〒666-0015 川西市小花 2 丁目 25-1

TEL・FAX 072-759-3269

メール nalc.sasaeai@gmail.com

HP [ナルク宝塚・川西] 検索



会員数 2 月 28 日現在

147 世帯・会 員 209 名・賛助会員 13 名

「ブルーノ・グルーニング交友会」でのボランティア

遊上津恵子 (宝塚)

私だけではなく、多くの方々は幸せ、平安、健康を願っています。中でも大切なのは健康だと。

この様な様相に入る少し前に、友人を通じ NALC を紹介されお仲間に入れていただきました。

代表から私に何か書くようにとの依頼があり、私が今させていただいているもう一つのボランティアのことを書かせていただこうと思います。

会の名前は「ブルーノ・グルーニング交友会」ー肉体と精神の健康への道一の会です。

ブルーノ・グルーニング (1906-1959) はドイツのヒーラー (治療する人) です。彼の生前から、そして、この世を去った後も、彼の癒しのエネルギーが人々に働きかけ、多くの治癒された人達が証言を残しています。

交友会は宗教に関係なく世界各地 (キリスト教、イスラム教、仏教などを問わず) に存在します。人々にとり一番大切な健康を、彼、ブルーノ・グルーニングを通じて流れる癒しのエネルギーを自身に取り入れることにより、取り戻しています。治癒された人達の記録は、医学の専門分野の医者により検証されていることは注目に値します。短い文章では伝えきれませんので、リンクのアドレスをご覧ください。

ブルーノ・グルーニング公式ホームページ

<https://www.bruno-groening.org/ja>

https://www.youtube.com/results?search_query=ブルーノ・グルーニング交友会

【ご挨拶】

賛助会員 (衆議院議員) 市村浩一郎

昨年 10 月の総選挙で兵庫 6 区 (伊丹市、川西市、宝塚市) から、皆様の代表として国会に 4 期目として送り返していただきました衆議院議員の市村浩一郎です。

昨年 12 月、私は衆議院予算委員会で岸田首相と質疑をする機会を得ました。

首相は現在、「新しい資本主義」を唱えています。実は私は既に、拙著「日本を元気にする NPO」(PHP 研究所、2009 年) の中で、「新たな資本主義」という概念を提唱しております。

新しい資本主義における「民」の役割について問うと、首相は「NPO をはじめ非営利セクターの皆様方にも是非期待をしたい」と NPO の重要性をはっきりと答弁されました。新しい資本主義が成功するかどうかの肝は NPO にあり、まさに我が意を得たりでした。

先駆性、柔軟性、迅速性という「民」の特徴をいかして、「公」の役割を担うのが NPO です。社会が複雑になっている現在、役所だけでは社会の問題を解決することはできません。「民の公」である NPO の役割は益々大きくなる一方です。

シニア世代の積極的な社会参加を進めておられるナルクさんは、少子・高齢化が進む現在では非常に重要な役割を果たす NPO です。

社会をよりよくするため、引き続きご指導をよろしくお願い申し上げます。



【拠点エリア内の名所史跡のご案内】

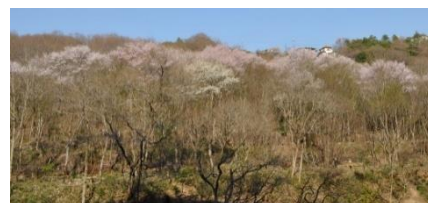
「川西」

厚東信之(川西)

「エドヒガンの森」をご紹介します

昭和 40 年前後に川西に続々とニュータウンが開発され、現在 6000 世帯が住み市内でも 2 番目に大きい「多田グリーンハイツ」には里山がある。溪谷にひっそりとたたずむエドヒガン群落、市の天然記念物です。植樹などで数を増やした桜は現在 300 本にも上ります。

3 月下旬から 4 月上旬にかけて、淡い紅色の花を咲かせ、花の下がひょうたんのように膨れるのが特徴の桜の野生種エドヒガン。桜と言えばソメイヨシノが有名ですが、ソメイヨシノはこのエドヒガンとオオシマザクラの交配で誕生したものです。桜の中では長寿なことで知られ、日本最古のものは樹齢 2000 年とも言われています。



地元の有志約 50 名で「溪の桜を守る会」を組織して、毎月地道な活動を続けて来ておられるお陰です。例年 5 月には、溪に作られた特設ステージで音楽コンサートを開催してきましたが、新型コロナの影響でこの 2 年間は中止。今年は 3/26(土)～4/3(日) 9:00～15:30 春の一般公開されるようです。能勢電鉄平野駅からバスで 10 分弱の便利な所です。是非一度ご覧になってください。

【第 19 回猪名川クリーン作戦参加報告】

幹事：中田年平

2 月 19 日(土) 午前 7 時の天気予報では「午前 50%以上の降雨予想」のため、先月の会報で参加は取りやめることを連絡していましたが、7 名の方が事務所に参集されました。9 時の時点ではまだ空模様は曇りでしたので 7 名で参加することになり事務局がおられる場所に出向き河川敷のゴミ拾いを開始しました。



今回ナルクが担当した場所は事務所からすぐ近くの「ドラゴンランド公園下」でしたがあまり河川敷は汚されていませんでした。夏のバーベキューの後始末忘れの金網やパイプ椅子の放置などでした。午後から雨が降りましたが、皆さんは雨が降る前に帰路につかれました。

【洋裁同好会を立ち上げました】

比谷光孝(川西)

今年の 1 月、コロナ同好会をオミクロン流行の大変な時期に洋裁同好会を始めることになりました。

とはいえ私の洋裁は自己勝手流で専門的な知識は殆どありません。小さな失敗は気にせず、あちこち誤魔化しながらミシンを楽しんできました。この同好会では「簡単で少しかっこいい服？」を作ることをモットーに知識を出し合って仕上がる過程の喜びを共有したいです。着物をリメイクする人や好みの布で作る人などいろいろです。どなたも大変意欲的で、年齢を重ねてもこの前向きな気持ちが大切だなと改めて感じます。

いつまで続けられるか分かりませんが明るく楽しい時間を過ごせる場所であることを願います。こういう時期ですのでなるべく少人数で中止も視野に入れて活動したいと思います。

開催日時・場所：毎月第 4 水曜日 10:30～15:30 事務所でやっています。

【らくごクラブのご案内】

米田典夫(川西)

春です！桜の花見シーズンです。コロナ禍で開催の中止が続きました、今回は屋外で楽しくやります。

日時：令和 4 年 4 月 15 日(金) 10 時～14 時

場所：兵庫県北摂里山魅力づくり応援事業うぐいすの森 2・29 の会の活動地

能勢電鉄鼓が滝駅徒歩 10 分 駐車場は十分有ります

内容：*10 時から軽作業のまち山保全と散歩道の清掃など

*12 時から山桜の大木に囲まれた展望台にて花見と食事と笑談

*ナルクデーの行事と兼ねています。また、他のボランティア団体の定例活動と合同です。

参加：食事代として 1500 円

問い合わせ申し込みは米田まで：090-1896-8208

2月9日水曜日の13時30分から定例の運営委員会が開催されました。運営委員の17名は男性が9名、女性が8名です。地域別では宝塚市が3名、川西市10名、伊丹市2名、西宮市1名、猪名川町1名です。

拠点の運営規則では機関としての運営委員会であり、役員としての運営委員です。運営委員の任期は2年で再任はさまたげないとなっています。

また運営委員は代表、副代表、事務局長、会計を含め5名以上となっていますが「出来るだけ多くの会員の状況把握と意見の掌握」を目的として多人数で構成されています。現在はコロナ禍でリモート会議となり、議題や報告事項等で熱心な討議やユーモアを含めた脱線がなくなり、なんとなく充実感の得られない1時間30分の委員会です。コロナ禍の以前は事務所に13・4名が顔をそろえ2時間30分ぐらいが常でした。多くは脱線による世間話で司会進行役の副代表が困っていました。そんな時いつも「アホなこと言うてんと」と助け舟がありました。アホウで思い出しましたが、国の特別天然記念物のアホウドリは人が近づいても怖がらず逃げないでやすやすと捕まえられることから妙な名前がつけられています。じつはその無抵抗ぶりは誤解だそうです。外敵が近づいても追い払うのではなく巣に座り込んで卵を守る習性だといいます。異見(外敵)には無駄な抵抗はせず、自分の意見(卵)は大事に守りたいのです……。

文芸コーナー

【覚悟を失はず】

吉田松陰 一日一言



【詠】

「侍というものは、どれほど困窮しても絶対に侍の覚悟は失わない。また、立身出世をしたとしても、富裕や高貴におぼれて、日頃の志を忘れることはない。正しい政治をして、民に恵みを与え、彼らの期待にそうものである」

【言葉の由来】

【有卦に入る】

「幸運に巡り合う」とか「うまく調子に乗る」という意味です。

「有卦」とは、陰陽道からきた言葉で、縁起のよい年周りのことです。

陰陽道では人の生年を木火土金水の五行ごんに配し、その運勢を吉と凶に分けて、胎・養・長・沐・冠・臨・帝の七つに当たる年を「有卦」としてうまく行く年、対して、衰・病・死・墓・絶の五つにあたる年を「無卦」として万事に悪い年としています。つまり、有卦に入るとよい事が七年続き。次の五年は無卦に入るわけです。「有卦に入る」とはよい年周りに入ったということなのです。

【俳句】

侘助のほつと紅色初供華に

杉木妙子

【短歌】

『季くればろうばいも梅も咲きており厳寒の中生き継ぐ我も』松野綾子

【編集後記】

今朝の天気予報時に気象予報士が喋っていた。梅が満開になる時期と、スギ花粉の最盛期とは概ね重なる傾向にあると。私は40才過ぎから約10年間、夏に冷房が入る時期になるとスギ花粉症と全く同じ症状が出て本当に困りましたが、50才を超える頃いつの間にか発症が嘘のようなくなり、今は大変有難く思っています。

花粉症の方、辛いですが暫くの間頑張ってください。

(厚東記)